

平成 27 年度 和梨【無袋栽培専用】病虫害防除暦



JA 中野市営農センター
JA 中野市ナシ部会

◆ 有袋栽培専用防除暦は裏面にあります。

散布日	散布時期	散布薬剤(水100ℓ当り)	収穫前 使用 時期	使用 回数 (以内)	散布量 10a 当り (ℓ)	対象病虫害 (発生病虫害)	注意事項
月 日	第1回 発芽直前 3月下旬	(水 98ℓ) キノドーフロアブル *③ 100mℓ スプレーオイル *① 2ℓ	3日前 発芽前	9回 —	300	黒斑病 輪紋病 (ハダニ類) (カイガラムシ類)	① キノドーフロアブルにスプレーオイルを加用し、良く攪拌する。 ② キノドーフロアブルに代えて石灰硫黄合剤 10 倍(発芽前、—)でもよい。
月 日	第2回 発芽 7 日後 4月上旬	(水 96.7 ℓ) icボルドー48Q *①、② 3.3kg	開花前	—	300	(黒斑病)・黒星病	① 散布が遅れた場合や散布直後に降雨があると薬害が生じることもあるので注意する。 ② 収穫中の作物への飛散に充分注意する。
月 日	第3回 開花始め期 4月下旬	*①、② 展着剤 20mℓ サムコルフロアブル 10 *③ 20mℓ ポリオキシソ水和剤 100g	前日 7日前	3回 5回	350	黒斑病 黒星病 ハマキムシ類 ケムシ類	① 訪花昆虫保護のため使用薬剤を厳守する ② 開花期が高温でアブラムシ類の発生が早い場合は、ウララ DF2000 倍(14 日前、2 回)を加用する。 ③ サムコルフロアブルに代えて、ロムダンフロアブル 3000 倍(7 日前、3 回)でもよい。
月 日	第4回 5月上旬 (前回 10 日後)	*① 展着剤 20mℓ スコア顆粒水和剤 50g モスピラン顆粒水溶剤 25g	14日前 前日	3回 3回	350	黒斑病・輪紋病 アブラムシ類・カイガラムシ類 シンクイムシ類・カメムシ類	① アブラムシ類の発生が早まる場合は、今回の防除を早める。
月 日	第5回 5月中旬 (前回 10 日後)	*① 展着剤 20mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ ハチハチフロアブル 50mℓ	30日前 14日前	5回 2回	350	黒斑病・赤星病・黒星病 アブラムシ類 クワコナカイガラムシ	① アブラムシ類の発生が早まる場合は、今回の防除を早める。
月 日	第6回 5月下旬 (前回 10 日後)	*①、② 展着剤 20mℓ ダーズバン DF 33g アントラコール顆粒水和剤 200g	21日前 45日前	3回 4回	350	黒斑病・黒星病・赤星病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① アブラムシ類発生園はバリアード顆粒水和剤 4000 倍(前日、3 回)を加用散布する。 ② 葉色が薄い場合や黄化が見られる園は、ビックマグの 1000 倍を今回から 3 回程度連続して加用散布する。
月 日	第7回 6月上旬 (前回 15 日後)	展着剤 *①、② 20mℓ ロブドー水和剤 125g サイアノックス水和剤 100g	14日前 45日前	5回 3回	400	黒斑病・黒星病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① 通常展着剤に代えて、固着性展着剤のアピオン E の 1000 倍を使用すると薬液付着効果が高まる。(7 月中旬の防除まで使用してもよい) ② カイガラムシ類発園は、アブロードフロアブル 1000 倍(30 日前、2 回)を加用する。
月 日	第8回 6月下旬 (前回 10 日後)	*①、② 展着剤 20mℓ ベルコートフロアブル 66mℓ ダーズバンDF 33g	14日前 21日前	5回 3回	450	黒斑病・黒星病 シンクイムシ類、 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ (ハダニ類)	① 黒斑病の発生園は、6 月末にロブドー水和剤 800 倍(14 日前、5 回)を特別散布する。 ② ハダニ類の発生が心配される場合は、カネマイトフロアブル 1000 倍(前日、1 回)を加用する。
月 日	第9回 7月上旬 (前回 10 日後)	展着剤 20mℓ ナリアWDG *① 50g スミチオン水和剤 40 100g	前日 21日前	3回 6回	450	黒斑病 ナシヒメシンクイ カメムシ類 クワコナカイガラムシ	① ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。 ② 葉やけ防止のために涼しい時間に散布する。
月 日	第10回 7月中旬 (前回 10 日後)	展着剤 *① 20mℓ ベルコートフロアブル 66mℓ オリオン水和剤 100g	14日前 3日前	5回 2回	450	黒斑病・輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ・ケムシ類	① 黒斑病の発生園は、ロブラール水和剤 1500 倍(14 日前、5 回)を加用する。
月 日	第11回 7月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 *① 20mℓ ダニサラバフロアブル *② 100 mℓ ダーズバン DF 33g ロブドー水和剤 125g	前日 21日前 14日前	2回 3回 5回	450	黒斑病 ハダニ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① 通常展着剤に代えて機能性展着剤のササラ 2000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。 ② ダニサラバフロアブルに代えて、スターマイトフロアブル 2000 倍(前日、1 回)でもよい。
月 日	第12回 8月上旬 (前回 15 日後)	展着剤 20mℓ キノドーフロアブル 100mℓ オリオン水和剤 40 *① 100g	3日前 3日前	9回 2回	450	黒斑病・輪紋病 シンクイムシ類・ハマキムシ類 カイガラムシ類 (ハダニ類)	① シンクイムシ類(成虫)の多発園は、オリオン水和剤 40 に代えて、バリアード顆粒水和剤 4000 倍(前日、3 回)を使用する。
月 日	第13回 8月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 20mℓ コロマイト乳剤 *① 100mℓ キノドーフロアブル 100mℓ イカズチWDG 66g	前日 3日前 前日	1回 9回 3回	450	黒斑病・輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類 ハダニ類	① ハダニ類(成虫)の発生が多い場合は、コロマイト乳剤を 8 月上旬中旬に繰り上げ散布する。
月 日	第14回 9月上旬 (前回 15 日後)	*① 展着剤 20mℓ キノドーフロアブル *② 100mℓ ダントツ水溶剤 *③ 25g	3日前 前日	9回 3回	450	黒斑病・輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類 コナカイガラムシ類	① 南水・あきづき・豊水等の最終散布とする。 ② 果面の汚れが心配される場合はキノドーフロアブルに代えて、ストロビードライフロアブル 2000 倍(前日、3 回)でもよい。 ③ ダントツ水溶剤に代えて、アルバリン顆粒水溶剤 2000 倍(前日、3 回)でもよい。

◆ 安全・安心の農産物生産のために使用基準を厳守しましょう。

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（DF）⇒顆粒水和剤（WDG）⇒水和剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤